



発見！ 戸田まちかど探検

第9回 何気ないそのアイデア、補助金で実現できるかも？



この間、友だちが子どもの制服をリユースするボランティアを始めたって、すてきな話を聞いてしまった。立ちあげにあたって市の「共創のまちづくり補助金」っていう、市内のボランティア活動団体への補助金制度を利用したんだって。私もボランティアに興味あるけど、ハードル高そうだなあ…。でも市が相談に乗ってくれて、資金援助や活動の

サポートもしてくれるなら実現しやすいかも。我が家でも何かできそうね。うちの子たちの服やおもちゃを集めて何かできないかな。リユース活動だけじゃなくて、ワークショップや子どもの食育、外国人市民の支援とか、アイデア次第でいろんな活動ができそう。自分たちが住むまちを、自分たちでよりよくできるって、ステキ!

今回の注目事業

共創のまちづくり補助金

市民と行政が手を組み、地域をよりよくしていくための補助金です。金額や補助年数に応じて複数のコースがあり、設立後1年以内の団体をサポートする「スタートアップ運営補助コース」やSDGsの理念に基づく事業を応援するコースなどさまざまなコースを用意しています。詳しくは、7ページの特集をご覧ください。補助金を検討する場合、まずはボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)にご相談ください。



市民活動の拠点となる「市民ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)」

補助金を活用した団体より

にじろぼとん 代表 石上 明子さん

子どもの学校のPTAで出会ったママ友たちの間で「中学校の制服を、卒業した後にほかの家庭で安価に再利用できる仕組みがあれば助かるだろうね」と、最初は何気なく話していただけでした。当初からはっきりした事業内容を考えていたわけではありませんが、市役所やTOMATOで相談してアドバイスを受けて、団体として形になっていきました。「共創のまちづくり補助金」も市役所で教えていただいたことがきっかけで、「スタートアップ運営補助」コースの申請をしました。制服のクリーニングや保管のためにはある程度のお金がかかります。この補助金制度やアドバイスのおかげで、ママ友の会話の中から生まれたアイデアが実現しました。



(制服引き取りの活動中の写真、Instagramより)



イラストレーター
アライヨコ

埼玉県民。イラストレーター。小中学生男子2児の母。家事に仕事に育児に毎日バタバタ過ごしています。制服代高いのにカバンに丸められ床に脱ぎ散らかされて飼犬に噛まれたりとすでになかなかの仕上がりです。リユースできる状態で卒業してほしい…

まちがいさがしてまちを知ろう！

左右の絵から5つのちがいを見つけてね



スポーツセンター

昭和55年(1980年)竣工の複合大型スポーツ施設で、陸上競技場、テニスコート、弓道場、柔道場、剣道場、卓球場、トレーニング室など屋内外での多彩なスポーツを楽しめます。令和2年(2020年)には屋内プール棟が新規オープンしました。

①建物に書いてある「スポーツセンター」の名称 ②木の数 ③着いた服の色 ④着いた服の袖 ⑤花の真ん中の色 ⑥着いた服のカラー